

女性協議会が意見交換会

C S E

働きやすく活躍できる職場へ

社員数193人のうち、女性が約4割を占める建設コンサルタント業界でも屈指の女性比率を誇る中央設計技術研究所(略称「CSE」、金沢市)で13日、社内組織である女性協

議会の意見交換会が開催された。女性協議会は、職場における女性の活躍推進を目的に2016年10月に発足。「成長」「活躍」「情報共有」などの6項目を目的として、女

性(特に一般職)が働きやすく活躍できる職場環境づくりを目指してメンバーで協議・検討が進められている。本社会議室で開かれた今回の意見交換会には、岐阜や福井・富山も含む隣県の各拠点から女性社員約30人が参加した。

はじめに、中辻英二社長は「残業時間は減少してきているが、まだまだ基幹職の長時間就労などが存在しており、全社員が一緒にな

って会社を改善していく必要がある。改善案の提案・実行で、さらにはいい会社になりたい」とあいさつ。続いて、経営企画部働き方改革推進室の佐竹俊昭推進室長が、CSEビジョンの達成状況や働き方改革に伴う近年の残業時間の推移、離職率の推移、社員満足度調査の結果など会社の現況を報告した。

今回は、自由に意見を出し合い、情報の交換や共有を図り、今後の業務改善や課題解決につなげよう、①「能力向上に向けて(改善できること・要望すること)」、②「ワーク・ライフ・バランスを保つために心がけていること」の2テーマについてグループ討議、その後、グループごとに発表を行った。

このなかで、主な意見として、テーマ①では「上司、担当者からの指示を明確にするためのコミュニケーション時間、報連相時間が不足して

いる」「業務内容を共有化するために指導時間の確保、顔を見て話し合える機会を増やす」「チームで仕事をするので補助業務で一般職がリーダーであっても良い」「能力向上の目標達成は年2回確認できたら効果がある」など、改善に積極的な意見が出された。

また、テーマ②では「会社の制度は充実していると思うが、これからの若い世代が活躍する時には必要に応じて要望したい」「今回の意見交換会は女性のみだったが、次回は男性担当、基幹職等との交換会を持ちたい」などの意見もあった。

中辻社長は「ワーク・ライフ・バランスを目的に、3年前に女性協議会を設立して以来、会社の制度を順次見直し、就労環境の改善に大きな成果を出している」と評価した上で、「これまでは、主にライフを重点に置いて討議してきたが、次のステップとして、ワークに関して改善を求めたい。建設コンサルタント業界でも人材不足が叫ばれており、女性が活躍できる職場環境づくりを通して、女性技術者を育成することは技術の底上げにつながる。今後の会社発展には、女性の活躍がキーを担っている」と、大きな期待を寄せる。



活発に意見交換する女性社員＝金沢

た。中辻社長は「今回の意見交換会には、岐阜や福井・富山も含む隣県の各拠点から女性社員約30人が参加した。

はじめに、中辻英二社長は「残業時間は減少してきているが、まだまだ基幹職の長時間就労などが存在しており、全社員が一緒にな

って会社を改善していく必要がある。改善案の提案・実行で、さらにはいい会社になりたい」とあいさつ。続いて、経営企画部働き方改革推進室の佐竹俊昭推進室長が、CSEビジョンの達成状況や働き方改革に伴う近年の残業時間の推移、離職率の推移、社員満足度調査の結果など会社の現況を報告した。